

きく組

— 2学期の目標 —

- ◎教材や活動を通して、状況に応じた正しい言葉について、みんなで考えていく時間を作ったり、伝え合う活動に取り組む
- ◎身の回りの物の片付け方や、製作したものの扱い方について自分で考え、管理ができるようにする

— 活動内容 —

ことばっておもしろい!

(協同性、言葉による伝え合い、自立心、
思考力の芽生え、豊かな感性と表現、
数量や図形、標識や文字などへの関心)



- 書き順じゃんけんに取り組むと、ひらがなやカタカナの練習に自分から取り組む子どもがいて、その影響を受け、次々とすすんで練習を始めるようになった。
- 子どもたち同士でしりとりやマジカルバナナをして楽しむ姿があり、お題を決めて言葉探しゲームをする。「か」から始める言葉などを探したりしながら友だちと一緒に考えていた。出てきた言葉はグループごとに発表し、新しい言葉の発見にも繋がった。
- 「ちくちくとふわふわ」の絵本を通して、ふわふわな言葉やちくちく言葉についてどんなものがあるか話し合う。次第に日常生活のなかで「今の言葉はちくちく言葉だよ」と相手に伝える場面が見られ、正しい言葉に気付けるようになってきている。
- クラスで人気の絵本があり、子どもたちと話し合い暗唱をする。暗唱の方法を話し合っ決めて、絵本のイラストを製作し、発表した。

つくるってたのしい!

(道徳性・規範意識の芽生え、協同性
思考力の芽生え、豊かな感性と表現)



- 廃材を使い、ピタゴラススイッチを作ったり新しい玩具を考えて遊んでいた。
- 一人の子どもが輪つなぎに夢中になると、次々に輪つなぎを始める。一本の長いものが出来上がり、数を数え「あと〇個作ろう!」と話し合い、盛り上がる。できた作品をクリスマス祝会の歌の装飾に使う。
- 紙飛行機で遊ぶことが多かった2学期。さまざまな形の紙飛行機を作ることを楽しみ、折り紙が上達していった。よく飛ぶにはどんな折り方をすれば良いか考えたり、試行錯誤していた。できた紙飛行機は上記の歌の装飾と一緒に使い、子どもたちも喜んで歌の練習にも意欲的に取り組んでいた。



— 2学期の反省 —

- ◎行事や活動に取り組む中で、友だちと励ましあったり、協力し合うようになり、関係が深まってきている。
- ◎園外保育が多い今学期だったが、すすんで挨拶をしたりそれぞれの場所での過ごし方について理解しながら、取り組むことができていた。

— 3学期の目標 —

- ◎全体で活動する楽しさが分かり、友達と活動を作り上げていく喜びを知る。
- ◎一年生になる喜びや期待をもてるよう、活動に取り組んでいく。